

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
440015	X-31-B-2-440015						
授業科目	担当教員						
財務会計論／財務会計	山下 功	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1～3年次生】経営情報学部経営学科 【1～3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 選択 専門 選択 専門 選択	× × × 専門 × 専門 選択	× × × 2年 × 2年 2年

授業目的

財務会計は、複式簿記の計算を通して企業の経営成績と財政状態を測定し、株主・投資家・取引先・政府・地方自治体等の企業外部の利害関係者に報告する会計の仕組みです。それゆえ、管理会計が企業内部への報告を目的とするのに対して、財務会計では企業自身を企業外部へ、会計的にいかに表現するのかが重視されます。

この授業を履修することによって、ビジネス会計検定試験3級に対応した財務会計の基本的な知識を習得することを目標とします。

【関連するディプロマポリシー(学位授与方針)】

【財務会計論】情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること。

【財務会計】情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。

【アクティブラーニングの実施】反転授業を実施します。

各回の授業内容

第1回	【授】 財務会計とは 【前・後】 【復習に60分】教科書を事後に読む。	第9回	【授】 財務諸表分析(1): 財務諸表分析の方法、対象、比較など 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。
第2回	【授】 財務諸表とは 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第10回	【授】 財務諸表分析(2): 百分比財務諸表分析 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。
第3回	【授】 貸借対照表(1): 貸借対照表のしくみ、資産 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第11回	【授】 財務諸表分析(3): 成長性分析、安全性分析など 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。
第4回	【授】 貸借対照表(2): 資産(続き)、負債、純資産 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第12回	【授】 財務諸表分析(4): 利益性分析(いわゆる収益性分析) 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。
第5回	【授】 損益計算書(1): 損益計算書のしくみ、売上総利益 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第13回	【授】 財務諸表分析(5): 1株当たり分析、1人当たり分析など 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。
第6回	【授】 損益計算書(2): 営業利益、経常利益、税引前当期純利益、当期純利益 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第14回	【授】 財務諸表分析のまとめ 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み。教科書の例題と復習テストを復習する。
第7回	【授】 キャッシュ・フロー計算書: キャッシュ・フロー計算書のしくみや読み方など 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読み、予習ノートに記入する。教科書の例題と復習テストを復習する。	第15回	【授】 財務会計の実務 【前・後】 【復習に60分】事前学習は不要。配布資料を事後に読む。
第8回	【授】 財務諸表のしくみのまとめ 【前・後】 【予習復習に180分】教科書を事前に読む。教科書の例題と復習テストを復習する。	第16回	【授】 期末定期試験 【前・後】 【復習に240分】全体を復習し、期末定期試験に備える。

成績評価方法

【成績評価】期末定期試験90%、授業中に実施する復習テスト10%で評価します。

(注) 第8, 14, 15回のうち1回分をレポートで代替することができます。その場合、期末定期試験84%、レポート6%、授業中に実施する復習テスト10%で評価します。

【フィードバックの方法】前回の復習テストの解説を行います。

教科書・参考書

教科書として、以下のものを使用します。第2回が始まる前に購入してください。

大阪商工会議所編(2019)『ビジネス会計検定試験 公式テキスト3級 第4版』中央経済社, ISBN:9784502301810.

教材として、拙著『財務会計 予習ノート』を使用します。各自でダウンロードしてください。

受講に当たっての留意事項

事前に簿記の知識を必要としません。

授業で計算問題を解くことがありますので、電卓を持参してください。なお、期末定期試験では、使用できる電卓が制限されます。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	上場企業で経理業務・会計情報システム構築などに従事した教員が、実務経験を基に財務諸表(決算書)の分析方法の講義を行っています。	○

学習到達目標

貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書のしくみを説明できる。(期末定期試験45%、復習テスト5%)

財務諸表分析の技法を用いることによって、財務諸表を読むことができる。(期末定期試験45%、復習テスト5%)

JABEE

【授】: 授業内容 【前・後】: 事前・事後学習